

要 旨

平成17年12月27日
調査統計部企業統計室

平成18年1-3月期の先行きDI

- ・売上高の現状判断は、悪化しつつも高水準を維持。先行きもわずかな悪化を見込むものの、NIEs3を除くすべての地域で2桁台の水準を維持。特に、NIEs3の悪化が目立つ。
- ・設備投資額の現状判断は、すべての地域で悪化。特に、NIEs3及び欧州が1桁台の水準に悪化。先行きは、北米及びASEAN4以外の地域でやや悪化を見込む。
- ・従業者数は、北米及びNIEs3で悪化し、中国はわずかに改善。

平成17年 7-9 月期の実績

- ・売上高は、8期連続で前年同期比2桁台の増加。輸送機械が好調ですべての地域で増加。電気機械は同1.4%増と引き続き低い伸び。中国は2桁台に回復するも、NIEs3では減少。
- ・設備投資額は、北米を除くすべての地域で増加。アジアではASEAN4が大幅に増加。欧州は輸送機械を中心に大幅に増加。北米は電気機械が引き続き大幅に減少。
- ・従業者数は、アジアで引き続き増加。なかでも中国は堅調に推移。北米はやや減少。

今回調査のポイント

調査時点：平成17年11月中旬

1. 売上高先行きDI^{*1}は、16.6%ポイントで先行き悪化を見込むも、2桁台の水準を維持。実績は、前年同期比10.8%増と8期連続2桁台の増加で、依然として好調を持続。

現状判断DIは、高水準を維持しつつも、中国^{*2}をはじめアジア地域で悪化。先行きDIは、北米及びASEAN4^{*3}で改善するものの、中国及び欧州はやや悪化。特に、NIEs3^{*4}は1桁台の水準にまで悪化。先行きDIの前期比は、わずかに悪化。北米は改善するものの、欧州は大幅に悪化。アジアも引き続きわずかに悪化。なかでも、NIEs3及び中国の悪化が目立つ。

実績は、すべての地域で引き続き増加。特に、アジアは13期連続2桁台の増加。なかでも、ASEAN4は輸送機械が好調で好調を持続。中国は電気機械が10%台の伸びに回復したものの、好調な輸送機械が30%台の伸びとなったことなどから、2期連続して10%台の増加にとどまった。NIEs3は電気機械等が減少し、1桁台の低い伸びにとどまった。北米、欧州は輸送機械が好調であるものの、電気機械の減少により1桁台の低い伸びにとどまった。

2. 設備投資額先行きDIは、10.1%ポイントで先行きやや悪化の見込み。実績は、前年同期比9.1%増と11期連続の増加。

現状判断DIは、すべての地域で悪化するもプラス水準を維持。先行きDIは、NIEs3及び欧州でさらに悪化の見込み。先行きDIの前期比は、やや悪化の見込み。アジアでは、ASEAN4は横ばい、NIEs3は電気機械、輸送機械の悪化により悪化の見込み。欧州は電気機械、輸送機械が改善するものの、わずかに悪化の見込み。北米は輸送機械の悪化幅が縮小し改善の見込み。

実績は、北米を除くすべての地域で増加。アジアは輸送機械が好調で引き続き大幅な増加。特に、ASEAN4は輸送機械の増加により大幅に増加。NIEs3は電気機械が減少したが、輸送機械の大幅増により2期連続で増加。中国は電気機械の減少により、10%台の低い伸びにとどまった。欧州は輸送機械の好調により引き続き増加。北米は電気機械の大幅な減少により引き続き減少。

3. 従業者数先行きDIは、6.4%ポイント。実績は、前年同期比6.1%増と引き続き増加。

現状判断DI、先行きDIも、欧州を除くすべての地域でプラス水準を維持。先行きDIの前期比は、中国を除くすべての地域で悪化。特に、NIEs3の悪化が目立つ。北米はわずかに悪化。

実績は、アジアでは引き続き増加。中国は電気機械、輸送機械等の増加により引き続き好調。ASEAN4は、輸送機械が増加。NIEs3は、電気機械の低下幅が縮小し3期ぶりの増加。北米は電気機械の減少により減少。欧州は輸送機械の好調により、2期連続の増加となった。

注) *1: DIの調査期間を、「現状判断」、「先行き」に分割し、それぞれ3ヶ月で調査

・DI=「増加と回答した企業の割合」「減少と回答した企業の割合」

・現状判断DIの前期比 = 「平成17年10-12月DI(現状判断)」 - 「平成17年 7-9月DI(現状判断)」

・先行きDIの前期比 = 「平成18年1-3月DI(先行き)」 - 「平成17年10-12月DI(現状判断)」

*2 中国：香港を含む。

*3 ASEAN4：インドネシア、タイ、フィリピン、マレーシア

*4 NIEs3：シンガポール、台湾、大韓民国

1. 売上高

- 売上高の現状判断DI（17年10-12月）の前期比は、 3.8%ポイントと悪化しているものの、すべて地域で2桁台の水準を維持。先行きDI（18年1-3月）の前期比は、 1.2%ポイントのわずかな悪化にとどまり、NIEs3を除くすべての地域で2桁台の水準を維持。
- ・現状判断DIは、北米及び欧州が改善し、すべての地域が2桁台のプラス水準を維持。
 - ・先行きDIは、北米及びASEAN4が大きく改善。中国は依然として水準は高いものの悪化を見込む。特に、NIEs3の悪化が目立つ。

□売上高実績は、前年同期比 10.8%増で8期連続2桁台の増加と好調を持続。すべての地域で引き続き増加。アジアでは輸送機械が引き続き増加し、13期連続2桁台の増加。中国及びASEAN4は引き続き2桁台の増加。NIEs3は電気機械や化学の減少により、1桁台の増加にとどまった。北米及び欧州は、輸送機械が引き続き好調であったが、電気機械が連続して減少し1桁台の増加にとどまった。

（参考）海外経済 世界の景気は着実に回復している。アメリカでは、景気は拡大している。アジアでは、中国では景気は拡大が続いている。台湾、シンガポール、タイ、マレーシアでは、景気は拡大している。韓国では景気は緩やかに回復している。ユーロ圏では、景気は緩やかに回復しており、英国の景気は回復している。（月例経済報告（12月）より抜粋）

- (1) 売上高現状判断DI(17年10-12月)は、17.8%ポイントと前期現状判断DI(17年7-9月)に比べ、3.8%ポイントと悪化。
- 先行きDI(18年 1-3月)は、16.6%ポイントと今期現状判断DI(17年10-12月)に比べ、同1.2%ポイントとやや悪化した。
- (1表、1図、2図)
- ・現状判断DIは、欧州が大きく改善し、すべての地域で2桁台のプラス水準。先行きDIは、NIEs3が1桁水準に悪化したものの、北米及びASEAN4が改善し、すべての地域でプラス水準。特に北米は20%台の水準まで改善したのが目立つ。
 - ・先行きDIの前期比は、 1.2%ポイントとやや悪化した。アジア(前期比 1.9%ポイント)では、ASEAN4は改善したが、中国(同 7.7%ポイント)が大きく悪化し、NIEs3(同 8.3%ポイント)は、電気機械、一般機械等の悪化により1桁台にまで悪化したのが目立つ。欧州(同 8.1%ポイント)は、輸送機械は改善したが電気機械の大幅な悪化により悪化した。北米は、電気機械は悪化した、輸送機械の大幅な改善により改善した。
- (2) 売上高実績(ドルベース)は、前年同期比 10.8%増と8期連続2桁台の増加。(1表、1図、3図)
- ・すべての地域で引き続き増加。アジアは13期連続2桁台の増加となった。中国は電気機械が10%台の伸びに回復したものの、好調な輸送機械が30%台の伸びとなったことなどから、2期連続して10%台の増加にとどまった。ASEAN4は2桁台の増加。NIEs3は電気機械、化学等の減少により、2期連続で1桁台の増加にとどまった。北米は電気機械が2期連続して減少。欧州は輸送機械が増加したものの、電気機械が減少したため、1桁台の増加にとどまった。

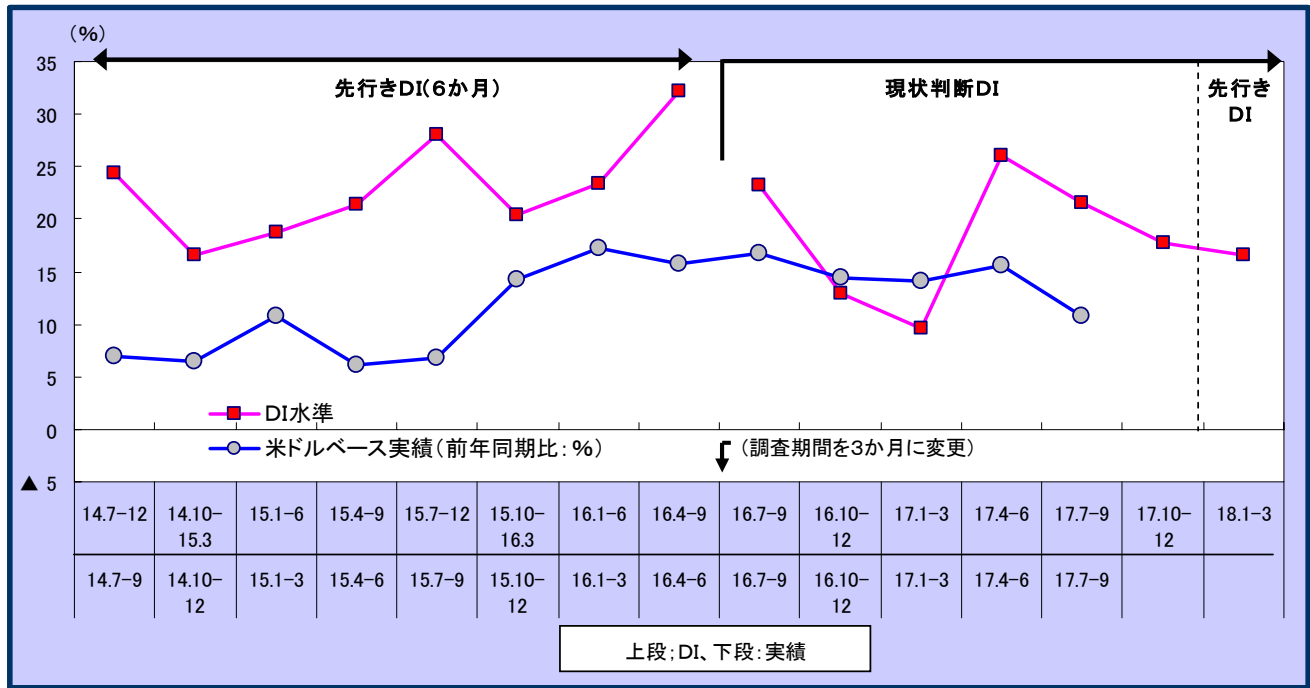
1表 売上高のDI及び実績（地域・主要業種別）

（単位：DI及びDI前期比 %ポイント、実績(前年同期比) %）

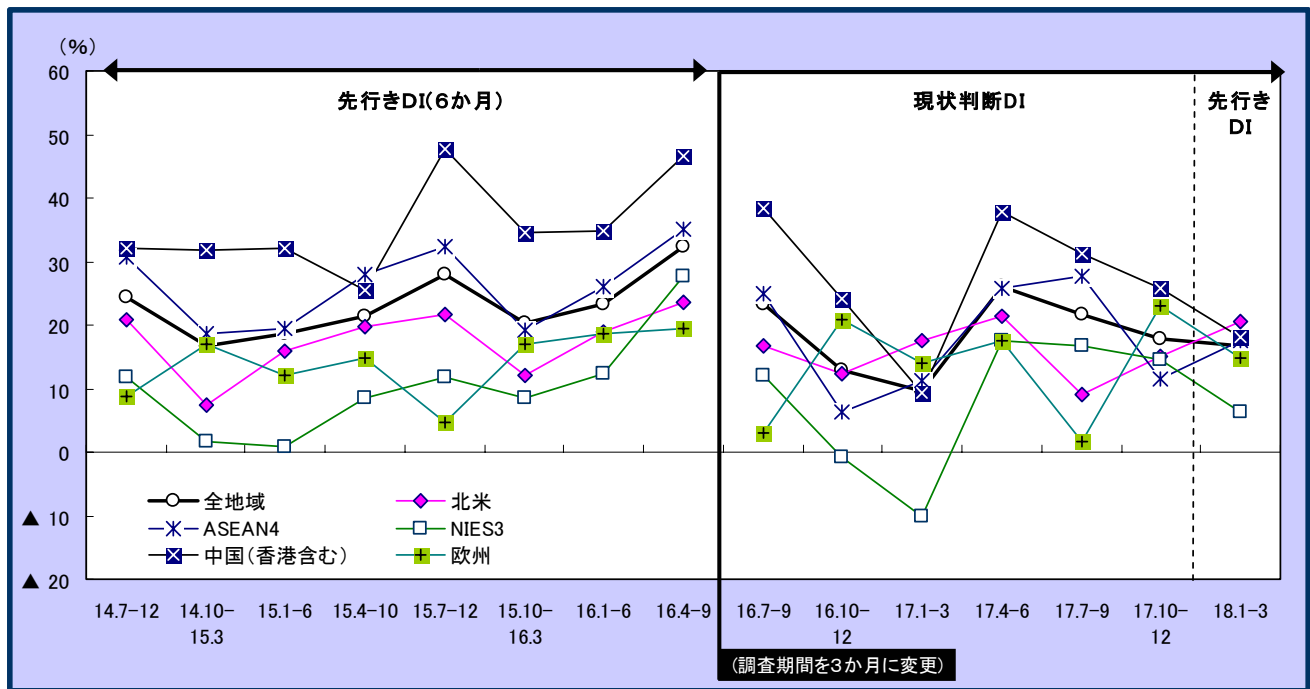
	DI					実績 (前年同期比)
	前期調査			前期比		
	現状判断	現状判断	先行き	現状判断	先行き	
	(17.7-9)	(17.10-12)	(18.1-3)	(-)	(-)	
計 (地域・業種)	21.6	→ 17.8	→ 16.6	(3.8)	1.2	10.8
北米	9.0	→ 15.0	→ 20.5	(6.0)	5.5	8.1
アジア	27.8	→ 19.0	→ 17.1	(8.8)	1.9	13.4
ASEAN4	27.3	→ 11.5	→ 17.5	(15.8)	6.0	14.7
NIEs3	16.6	→ 14.5	→ 6.2	(2.1)	8.3	4.3
中国 (香港含む)	31.1	→ 25.8	→ 18.1	(5.3)	7.7	14.6
欧州	1.7	→ 22.9	→ 14.8	(21.2)	8.1	7.2

	DI					実績 (前年同期比)
	前期調査			前期比		
	現状判断	現状判断	先行き	現状判断	先行き	
	(17.7-9)	(17.10-12)	(18.1-3)	(-)	(-)	
輸送機械	21.1	→ 24.5	→ 33.3	(3.4)	8.8	20.3
電気機械	19.6	→ 15.5	→ 9.4	(4.1)	6.1	1.4
一般機械	26.7	→ 25.8	→ 17.8	(0.9)	8.0	8.6
化学	25.5	→ 22.8	→ 21.6	(2.7)	1.2	6.0
鉄鋼	0.0	→ 3.5	→ 13.8	(3.5)	17.3	6.1

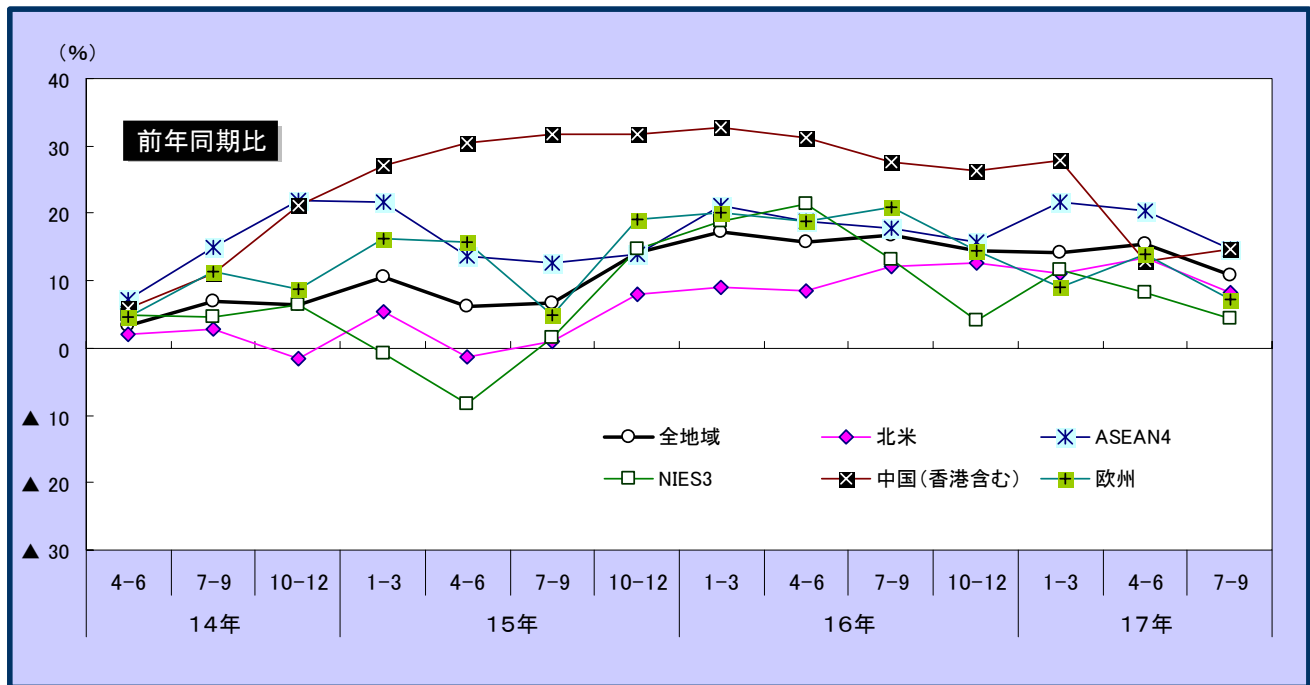
1図 売上高のDIと実績（ドルベース）の推移（全地域）



2図 売上高DIの推移（地域別）



3図 売上高実績（ドルベース）の推移（地域別）



2. 設備投資額（土地を除く固定資産取得額）

- 設備投資額の現状判断DI（17年10-12月）の前期比は、すべての地域で悪化し、先行きDI（18年1-3月）も北米、ASEAN4を除くすべての地域で悪化を見込む。
- ・現状判断DIは、すべて地域でプラス水準となるも、NIEs3及び欧州は1桁台の水準に悪化。
 - ・先行きDIは、北米は輸送機械等が悪化するもわずかに改善。ASEAN4は横ばいで、その他の地域はすべて悪化を見込む。特に、NIEs3の悪化が目立つ。
- 設備投資額の実績は、前年同期比9.1%増で11期連続の増加。北米を除くすべての地域で増加した。アジアでは引き続き大幅な増加。特にASEAN4で輸送機械の増加が目立つ。中国は電気機械が5期ぶりに減少し10%台の増加にとどまった。欧州は電気機械がやや伸び悩んだが輸送機械が引き続き好調で、5期連続の大幅な増加。北米は電気機械及び輸送機械の減少により、2期連続の大幅な減少となった。

- (1) 設備投資額の現状判断DI(17年10-12月)は、11.1%ポイントと前期現状判断DI(17年7-9月)に比べ、4.7%ポイントと悪化した。いずれの地域も悪化し、NIEs3及び欧州は1桁台の水準に悪化。
- 先行きDI(18年1-3月)は、10.1%ポイントと引き続きNIEs3及び欧州が1桁台の水準。その他の地域は2桁台の水準を維持。
- (2表、4図)
- ・先行きDIの前期比は、1.0%ポイントとわずかに悪化。北米及びASEAN4を除くすべての地域で悪化した。アジア(前期比1.8%ポイント)では、ASEAN4が横ばいとなったものの、NIEs3(同6.2%ポイント)が悪化し、中国は電気機械の悪化等により、わずかに悪化した。北米(同1.4%ポイント)は輸送機械や電気機械等が悪化した。が、窯業・土石等の改善によりわずかに改善。欧州(同0.9%ポイント)は、一般機械、化学が悪化したため、わずかに悪化した。
- (2) 設備投資額の実績(ドルベース)は、前年同期比9.1%増と11期連続の増加。(2表、5図)
- ・北米は2期連続の減少となったが、他の地域では、いずれも増加となった。アジアでは、ASEAN4が輸送機械の好調により、大幅に増加した。中国は電気機械が5期ぶりに減少したことにより、10%台の増加にとどまった。NIEs3は輸送機械が引き続き好調で、2期連続の増加。欧州は電気機械が1桁台の増加にとどまったものの、輸送機械の大幅増加により5期連続大幅な増加となった。東欧圏等での輸送機械の設備投資は依然として堅調に推移。他方、北米は、前年同期比17.0%減と2期連続に減少した。特に電気機械(同70.8%減)が大幅に減少し、輸送機械(同9.0%減)も減少した。

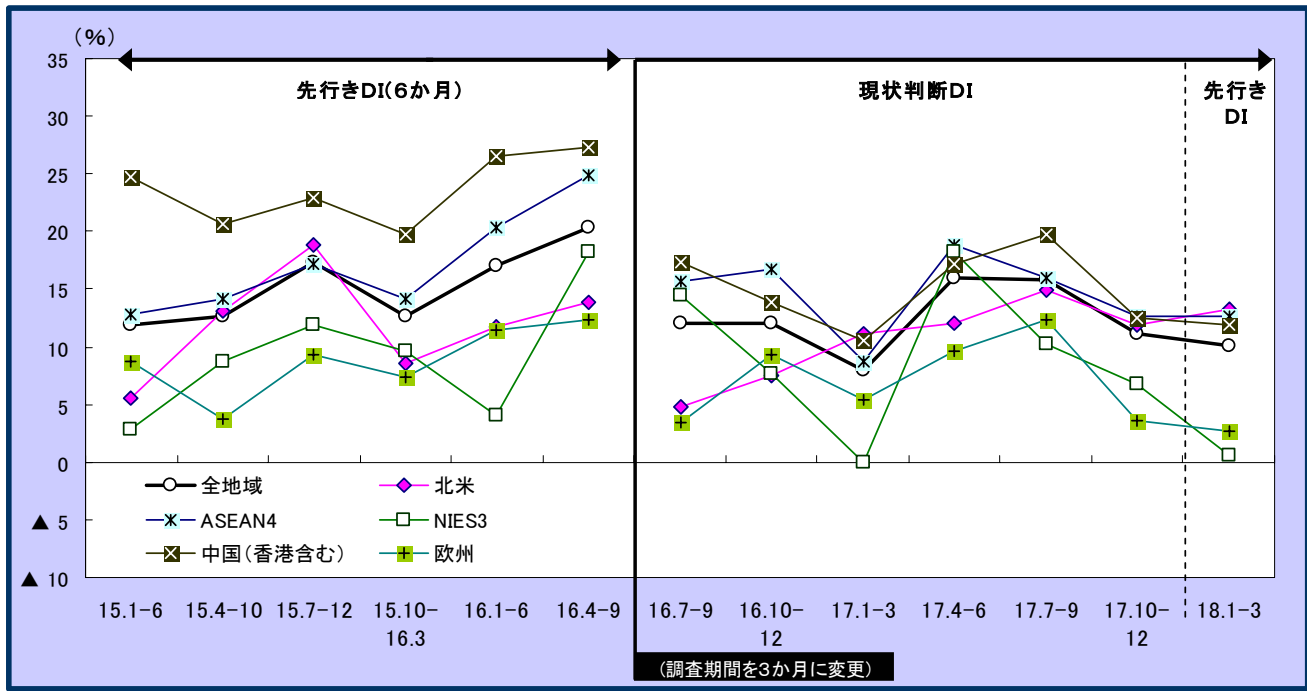
2表 設備投資額のDI及び実績（地域・主要業種別）

（単位：DI及びDI前期比 %ポイント、実績(前年同期比) %）

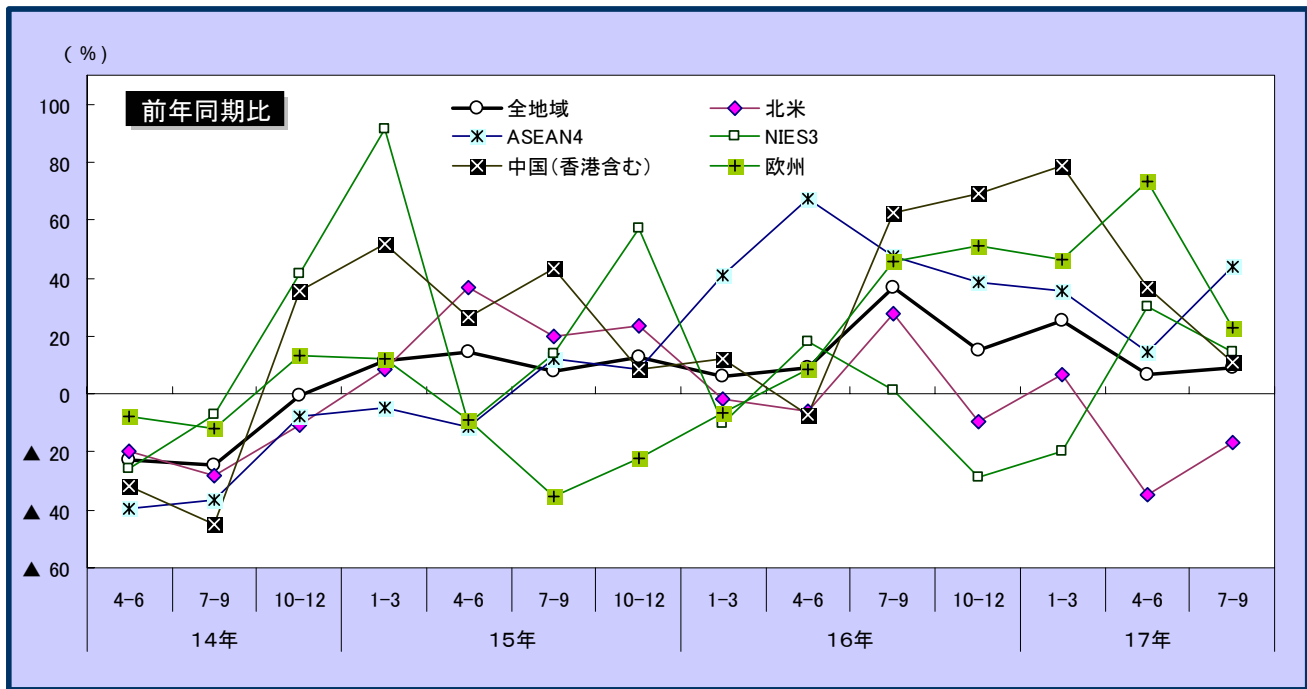
	DI					実績 (前年同期比)		
	前期調査		今 期 調 査		前期比			
	現状判断 (17.7-9)	現状判断 (17.10-12)	先行き (18.1-3)	現状判断 (-)			先行き (-)	
計 (地域・業種)	15.8	→	11.1	→	10.1	(4.7)	1.0	9.1
北米	14.9	→	11.9	→	13.3	(3.0)	1.4	17.0
アジア	16.7	→	12.4	→	10.6	(4.3)	1.8	25.9
ASEAN4	15.9	→	12.7	→	12.7	(3.2)	0.0	43.8
NIEs3	10.3	→	6.7	→	0.5	(3.6)	6.2	14.5
中国 (香港含む)	19.7	→	12.5	→	11.9	(7.2)	0.6	10.9
欧州	12.3	→	3.6	→	2.7	(8.7)	0.9	22.9

	DI					実績 (前年同期比)		
	前期調査		今 期 調 査		前期比			
	現状判断 (17.7-9)	現状判断 (17.10-12)	先行き (18.1-3)	現状判断 (-)			先行き (-)	
輸送機械	22.5	→	14.2	→	13.5	(8.3)	0.7	17.7
電気機械	13.5	→	8.7	→	5.7	(4.8)	3.0	23.9
一般機械	8.9	→	17.9	→	11.2	(9.0)	6.7	15.7
化学	13.4	→	13.0	→	8.9	(0.4)	4.1	18.9
鉄鋼	6.6	→	4.0	→	14.6	(2.6)	10.6	63.4

4図 設備投資額DIの推移（地域別）



5図 設備投資額実績(ドルベース)の推移(地域別)



3. 雇用

- 従業者数先行きDI（18年1-3月）は、6.4%ポイント。欧州を除くすべての地域でプラス水準。中国を除くすべての地域で悪化を見込む。
- ・ 現状判断DI（17年10-12月）は、欧州を除くすべての地域でプラス水準ながらも、前期比ではNIEs3を除くすべての地域で悪化。
 - ・ 先行きDIの前期比は、中国を除く地域で悪化。特に、NIEs3の悪化が目立つ。
- 従業者数（平成17年9月末）は、前年同期比 6.1%増で引き続き増加。アジアでは引き続き増加。中国は、前年同期比 11.5%増と2期連続して2桁台の増加。ASEAN4も同 6.0%の増加。NIEs3は同 1.0%とわずかに増加。欧州は同 2.7%の増加。北米は、同 0.9%減とわずかに減少。

- (1) 従業者数現状判断DI(17年10-12月)は、7.3%ポイントと前期現状判断DI(17年7-9月)に比べ、2.3%ポイントの悪化。
- (2) 従業者数（平成17年9月末）は278万人、前年同期比 6.1%増と引き続き増加した。（3表）

先行きDI(18年1-3月)は、6.4%ポイントと今期現状判断DI(17年10-12月)に比べ 0.9%ポイントとわずかに悪化。（3表）

- ・ 先行きDIの前期比は、0.9%ポイントで、中国を除くすべての地域で悪化。アジアではNIEs3の悪化が目立つ。北米はわずかに悪化。欧州は、同 0.9%ポイントとわずかな悪化を見込むものの、今期現状判断に引き続き先行きもマイナス水準。

・ アジアでは引き続きの増加。中国は輸送機械及び電気機械が増加し、2期連続 2桁台の増加。ASEAN4は輸送機械の増加により同 6.0%の増加。NIEs3は電気機械の減少幅の低下により、同 1.0%増とわずかに増加した。欧州は輸送機械が引き続き 2桁台の増加と好調で、同 2.7%の増加。他方、北米は、輸送機械は増加となったものの、電気機械が引き続き減少し、同 0.9%減とわずかな減少となった。

3表 従業者数のDI及び実績（地域・主要業種別）

（単位：DI及びDI前期比 %ポイント、実績(前年同期比) %）

	DI					実績 (前年同期比)		
	前期調査		今 期 調 査		前期比			
	現状判断 (17.7-9)	現状判断 (17.10-12)	先行き (18.1-3)	現状判断 (-)			先行き (-)	
計 (地域・業種)	9.6	→	7.3	→	6.4	(2.3)	0.9	6.1
北米	7.3	→	5.0	→	3.6	(2.3)	1.4	0.9
アジア	12.2	→	10.3	→	9.3	(1.9)	1.0	8.6
ASEAN4	12.6	→	9.1	→	8.4	(3.5)	0.7	6.0
NIEs3	0.7	→	6.4	→	0.4	(5.7)	6.0	1.0
中国 (香港含む)	15.2	→	12.3	→	12.8	(2.9)	0.5	11.5
欧州	1.5	→	3.9	→	4.8	(5.4)	0.9	2.7

	DI					実績 (前年同期比)		
	前期調査		今 期 調 査		前期比			
	現状判断 (17.7-9)	現状判断 (17.10-12)	先行き (18.1-3)	現状判断 (-)			先行き (-)	
輸送機械	16.1	→	12.4	→	11.4	(3.7)	1.0	12.4
電気機械	7.4	→	7.4	→	6.6	(0.0)	0.8	5.1
一般機械	14.4	→	11.8	→	6.5	(2.6)	5.3	6.2
化学	8.5	→	5.4	→	6.3	(3.1)	0.9	0.5
鉄鋼	1.4	→	0.0	→	10.2	(1.4)	10.2	0.8